

2016年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時: 2016年11月15日(火) 18:00 ~19:08

場所: 聖路加国際大学 1階 大会議室

議長: 萱間 真美(委員長)

出席委員: 萱間真美、鶴若麻理、菱沼典子、片岡弥恵子、小野若菜子、宮坂勝之、松井 陽、小松康宏
中村めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江眞知恵、

欠席委員: 小林京子、神里彩子、児玉安司

(出席者 11人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査) 司会:委員長 萱間真美

① 門脇 緑 (がん看護学・緩和ケア 博士後期課程2年)

「がん患者の療養過程における医療者との話し合いの現状と課題 —治療の選択・中止、緩和ケア、療養について—」

研究責任者(門脇 緑氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 森 明子 (ウイメンズヘルス・助産学 教授)

「がん生殖医療におけるオンコロジーナースの実践のための教材開発:事例集の作成」

研究責任者(森 明子教授)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:継続審査について 司会:委員長 萱間真美

① 審査番号 15-056:林 直子 (がん看護学・緩和ケア 教授)

「Good Death(よい死)を経験した日本人と日系アメリカ人の家族介護者文化比較研究(Cross-cultural study of Japanese and Japanese-American Family Caregiver Experiences with Good Death.)」

② 審査番号 15-A091:門脇 緑 (がん看護学・緩和ケア 博士課程2年)

「がん患者との end-of-life discussions における看護」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

3. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
16-A055	人工呼吸器離脱事例に焦点をあてた急性・重症患者看護専門看護師の調整プロセス	急性期看護学	修士課程 3年	嶋田 一光
16-A059	全身麻酔後の咽頭喉頭痛と咽頭喉頭痛が与える療養生活上の支障に関する実態調査研究	周麻酔期看護学	修士課程 2年	田口 佑子

16-A060	看護実践における「安楽」の理論化～看護師を対象とした質問紙調査～	基礎看護学	准教授	佐居 由美
16-A062	全国の産科施設におけるローリスク妊産婦に対する妊娠・分娩期ケアの実態調査	助産学	修士課程 2年	井上 さとみ
16-A063	子どもを特別養子縁組に託すことを検討している女性への助産ケア—先駆的な実践例から—	助産学	修士課程 2年	甕 満奈美
16-A064	周産期異常の臨床判断力を高める助産教育プログラムの評価	助産学	教授	片岡 弥恵子
16-A067	A 病院の麻酔科問診票の変更が患者と医療者へ及ぼす影響	周麻酔期看護学	修士課程 2年	岸本 陽子
16-A068	妊婦の尿失禁予防に対する骨盤底筋体操に関するリーフレットの作成と評価	ウイメンズヘルス・助産学	修士課程 2年	池田 彩乃
16-A065	在宅で発生する医療事故の定義に関する研究	在宅看護学	教授	山田 雅子
16-A070	在日外国人女性の妊娠期のセルフケア向上を促す映像教材の開発	助産学	修士課程 2年	河野 朗子
16-A058	プロジェクトアドベンチャーの概念を内包した森のようちえん保育者養成教材の開発	准教授	准教授	菊田 文夫
16-A06	小児脳腫瘍経験者の認知機能障害に伴う日常生活と学校生活困難に対する支援構築	教授	教授	小林 京子

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	15-065	Difficulties and Educational Needs of Indonesian Midwives.	国際看護学	准教授	長松 康子
変更申請	15-A091	がん患者との end-of-life discussions における看護	がん看護学・緩和ケア	博士後期課程1年	門脇 緑
変更申請	16-A014	Transitional Care Needs of Stroke Patients and Family Caregivers at Home After Discharge in an Urban Area in Indonesia: A preliminary study	在宅看護学	博士後期	Nia Damiani
変更申請	16-A051	院内統一鎮静ガイドライン導入が鎮静下消化管内視鏡検査に及ぼした影響	周麻酔期看護学	修士課程 2年	高橋めぐみ
変更申請	16-A052	育児支援プログラム「HUG YOUR BABY」を受講した母親の育児への認識と育児体験	助産学	助教	新福 洋子
変更申請	16-A010	「シェアード・ディシジョン・メイキングに基づく日本の臨床試験説明文書の評価と、臨床試験関係者から見た意思決定プロセスの現状」 The evaluation of the Informed Consent Forms for Japanese clinical trials Based on Shared Decision Making , and the Present Conditions of Decision Making Process from Stakeholder's View .	看護情報学	修士課程 2年	藤田 美保
終了報告	15-065	Difficulties and Educational Needs of Indonesian Midwives.	国際看護学	准教授	長松 康子

中止 報告	15-015	ネパール都市部の結核患者の栄養状態	国際看護 学	准教授	長松 康子
----------	--------	-------------------	-----------	-----	-------

5. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 倫理審査委員会認定実地調査ならびに適合性調査が行われた旨についての連絡があった。利益相反自己申告確認書についての連絡があった。
- ③ 今月より利益相反自己申告確認書の運用開始についての説明があった。

6. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2016年11月15日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。